

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2 単位
対象学年	第 2 学年				
授業担当者					
使用教科書	地理総合 東書	副教材	地理総合ワークノート		
スクーリング	必要出席時間数	2 単位 × 1 = 2 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	2 単位 × 3 = 6 枚			
期末試験	合格得点目標	20 点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性など、さまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

【年間指導計画】※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (〆切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	第1編 第1章 私たちが暮らす世界	○	○□		No. 1 4/29	○	○	○	2
5	第2章 地図や地理情報システムの役割	○	○□		No. 1 4/29	○	○	○	3
6	第3章 人々の生活文化と多様な地理的環境	○□	○□		No. 2 5/27	○	○	○	4
7	第2編第1章 生活文化と自然環境① 第2章 地形さまざまな地球的課題と国際協力	○□	○□		No. 3 7/8	○	○	○	2
8	試験対策								
9	前期期末試験 第2編第1章4節「生活文化と産業」	○	○□	○□		○	○	○	3
10	第2編第2章1節「地球環境問題」2節「資源・エネルギー問題」	○	○□		No. 4 9/29	○	○	○	4
11	3節「人口問題」4節「食料問題」 5節「居住・都市問題」6節「民族問題」	○□	○□		No. 5 10/28	○	○	○	4
12	7節「持続可能な社会の実現をめざして」 第3編第1章自然環境と防災	○□	○□		No. 6 11/25	○	○	○	2
1	第2章 生活圏の調査と地域の展望	○□				○	○	○	3
2	後期期末試験(1,2年)	○	○□	○□		○	○	○	3
3	一年間の総復習								3